

2002年10月の日本の天候

多雨・寡照（北日本）、多雨・多照（東日本）

10月の天気概況

低気圧が北日本を周期的に通過し、北日本では曇りや雨の日が多かった。また、上・中旬は南風が吹き込み気温が高く経過したが、下旬には後半を中心に強い冬型の気圧配置が現れ気温が低下し北日本の平野部でも降雪があった。東日本、西日本では天気は周期的に変化し、中旬を中心に気温の高い日が多かったが、下旬は冬型の気圧配置となって西日本を中心に気温が低く経過した。また、北日本、東日本では低気圧や台風第21号の影響で多雨となった。南西諸島では南下した前線の影響を受けやすかったため、平年に比べ気温の低い日が多く、多雨となった。

上旬：南海上から北上した台風第21号が1日から2日にかけて関東に上陸後北日本を縦断し、北・東日本では大荒れの天気となった。その後、天気は周期的に変化したが、旬前半は低気圧が日本海から北日本を通過することが多く全般に南西の風となり気温は高く経過した。旬の終わりごろには前線が日本の南まで南下し、南西諸島、西日本を中心に一時寒気の南下があった。**旬平均気温**は、北・東・西日本で高く、南西諸島は低かった。**旬降水量**は、北・東日本、南西諸島で多く、西日本では平年並だった。**旬日照時間**は、北日本太平洋側、東日本日本海側で多く、北日本、南西諸島で少なく、その他は平年並だった。

中旬：日本付近は帯状の高気圧に覆われることが多く、全国的に晴れて暖かい日が多かった。13～14日にかけて台風第22号が日本の東海上を北上したが大きな影響は無かった。また15～16日には本州を寒冷前線が通過し、各地で雷雨となった。**旬平均気温**は、全国で高かった。**旬降水量**は、北日本で少なく、西日本日本海側、南西諸島で多かった。**旬日照時間**は、全国で多かった。

下旬：下旬前半には低気圧が周期的に通過し、通過後に弱い寒気の南下があり全国的にぐずついた天気となった。26～27日に発達した低気圧が日本海側と南岸を通過した後は強い冬型が持続したため、日本海側では時雨となり、特に北日本では平野部でも降雪があった。**旬平均気温**は、北・東・西日本で低く、南西諸島は平年並だった。**旬降水量**は、北日本、東日本日本海側、南西諸島で多く、西日本太平洋側で少なかった。**旬日照時間**は、東日本太平洋側で平年並の他は少なかった。

10月の気候統計

平均気温：全国で平年との差が小さく、月平均気温は平年値に比±1℃以内の範囲内となった。

降水量：北日本、東日本、南西諸島で平年を上回ったところが多かった。特に北海道の太平洋側・東北の太平洋側・東北南部・関東北部・北陸・九州北部・南西諸島の一部では平年の170%以上となったところがあった。新庄（山形県）、若松（福島県）、金沢（石川県）で月降水量の最大値を更新した。西日本で平年を下回ったところが多かった。特に中国・四国の一部では平年の40%未満となったところがあった。高松（香川県）で月降水量の最小値を更新した。

日照時間：東日本の太平洋側、西日本の太平洋側で平年を上回ったところが多かった。特に関東、甲信、東海では平年の120%以上となったところがあった。北日本、南西諸島では平年を下回ったところが多く、北海道・東北北部の一部では平年の80%未満となったところがあった。

生物季節現象：モズの初鳴きが平年より遅かった。

(気象庁観測部統計室)

10月の記録（1位更新のみ）

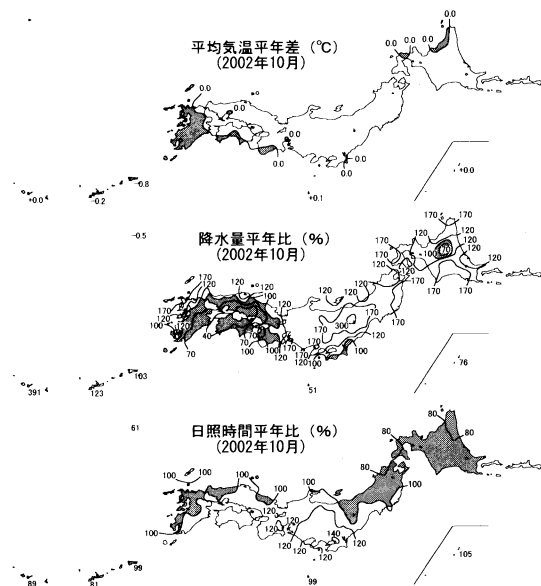
・月降水量の多い記録（mm）

新庄 260.0 若松 259.0 金沢 254.0

・月降水量の少ない記録（mm）

高松 19.5

2002年10月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す